

H26 シカ年度 ルサ - 相泊地区におけるエゾシカ密度操作実験(3年目)案

1. 経緯と方針

- ・相泊囲いわなでは前年度 116 頭を捕獲したが、相泊周辺は依然高密度。
- ・ルサ囲いわなは、継続して 4 年目であった昨年度は、捕獲頭数が著しく低下。
- ・流し猟式 SS では昨年度 78 頭（過去最多）を捕獲したが、2～3 月は著しく捕獲効率が低下。
- ・今年度も囲いわなと流し猟式 SS を併用。
- ・相泊囲いわなは同じ場所に再設置する。ルサ囲いわなは残置されており、今年度も稼働。
- ・流し猟式 SS は 12 月から実施するが、3 月中旬～4 月を重点実施期間とする。シカの出現状況等によっては 2 月～3 月上旬は捕獲を休止。

2. H26 シカ年度 捕獲事業内容案

・ 囲いわなによる捕獲（既設 1・再設置 1）

- 期間： 相泊は 11 月に再設置
12 月～馴致・餌づけ。
12 月下旬～3 月末まで捕獲（ルサはヒグマに注意しつつ 4 月末まで）
- 実施候補地： ルサ川左岸（既設）、アイドマリ川河口付近（再設置）。
- 検討事項： 部外者による攪乱・事故の防止、道道通行止時の対応。
特にルサは遠距離からの誘引方法。

捕獲目標頭数：ルサ約 15 頭、相泊約 120 頭（H25 シカ年度実績）。

・ 流し猟式 SS

- 期間： 11 月下旬～餌づけ
12 月中旬～4 月末に週 1 回程度捕獲
※2 月～3 月上旬に捕獲効率が低下する場合は、捕獲を休止し餌付けのみとする。
- 実施候補地： 道道知床公園羅臼線沿い（北浜～相泊間約 7km：H24-25 シカ年度と同様）。
- 検討事項： 2～3 月の捕獲休止、再開の判断。
4 月は道路利用者が少ない遅い時間に捕獲実施（13～16 時→14 時半～17 時半）。
- 捕獲目標頭数： 約 80 頭（H25 シカ年度実績）

捕獲目標頭数合計： 215 頭

H26 シカ年度 ルサ - 相泊地区
エゾシカ捕獲実施地点（案）



図 1-2-1. ルサー相泊地区における H26 シカ年度のエゾシカ捕獲事業実施予定地点

表 1-2-1 . 平成 26 シカ年度のルサ - 相泊地区におけるエゾシカ密度操作事業 (案)

手法	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
	搬出・処理法に関する有効活用業者との交渉 ⇔ スポットライトセンサス (秋期集中)	*シカ季節移動			← 積雪十分に	← シカ 道路法面に集中		*シカ季節移動
		⇔ ルサ FH 冬期閉館		← 流水期		← 猛禽繁殖期	⇔ スポットライトセンサス (春期集中)	
実施手法案	1. 罝いワナ (アイトマリ川河口 再設置) (ルサ川左岸 既設)	設計、自動落下式ゲートの設置検討	⇔ ワナ設置工事	⇔ 馴致・餌付け期間 ⇔ 餌付け + 捕獲	⇔ 餌付け + 捕獲	⇔ 餌付け + 捕獲	⇔ 餌付け + 捕獲	⇔ アイトマリ川河口のワナは解体
	2. 流し猟式SS (北浜 - 相泊)	路上発砲の関係機関交渉	⇔ 射撃訓練など ⇔ 馴致・餌付け	⇔ 餌付け + 捕獲 (道道知床公園羅臼線) ⇔ 週 1 回程度捕獲				